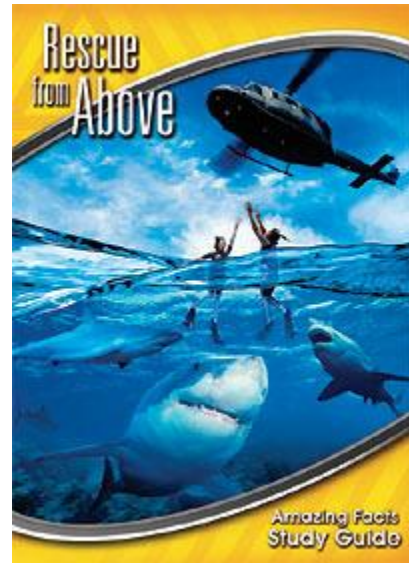


あなたが海で座礁し、飢えた、とつもなく恐ろしいサメが近づいてくる恐怖を頭に思い描いてみてください！そしてそれから安全なところに引き上げられることがどんなにありがたく、ホッとするかを想像してください。実のところ、地球上のすべての人が海上で座礁し、危険に囲まれているのです。私たちは緊急に救助を必要としていますが、それは船やヘリコプターからではなく、天のお父様からの助けです。神はあなたをとて愛しておられるので、あなたを救うために神のひとり子を私たちのために与えてくださいました。あなたはすでにこれらのことを聞いておられることでしょう。けれどもそれがどのようなことを意味しているのかを本当に理解しているのでしょうか？これが本当に理解できたならば、あなたの人生を変えるものなのではないでしょうか？これからそれを探ってみましょう！



1. 神は私のことを、本当に関心を持ち、大切に思っているのでしょうか？



神はあなたのことを個人的に関心を持ち大切に思っておられる。このすばらしい事実は何という喜びであろうか！

このように神は言われます：「あなたはわが目に尊く、重んぜられるもの、わたしはあなたを愛する」イザヤ書 43:4 「わたしは限りなき愛をもってあなたを愛している。」エレミヤ書 31:3

答え：あなたと私に対する神の永遠の愛は、私たちの理解と想像をはるかに超えるものです。神は、あなたもあなたが宇宙において、たった一人の失われた魂であるかのように愛しておられます。ほかに救うべき罪人がだれも存在しなかったとしても、神はあなたや私のために命を与えてくださったことでしょう。この事実を決して忘れないでください。あなたは神の御目に尊い存在です。神はあなたを愛しておられます。

2. 神は私たちに対する愛を、どのように表してくださいましたか？

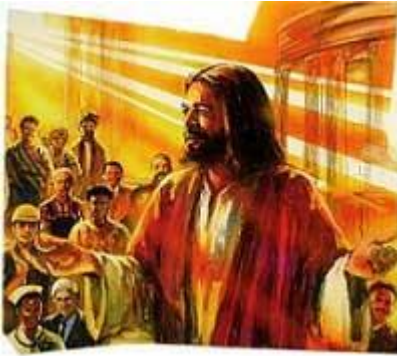
「神はそのひとり子を賜ったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。」ヨハネによる福音書 3:16 「神はそのひとり子を世につかわし、彼によってわたしたちを生きるようにして下さった。それによって、わたしたちに対する神の愛が明らかにされたのである。わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して下さって、わたしたちの罪のためにあがないの供え物として、御子をおつかわしになった。ここに愛がある。」ヨハネの第一の手紙 4:9,10

答え：神は私たちをとて深く愛して下さったので、あなたや私と永遠に離別するよりは、むしろ神のひとり子が苦しみ、そして死ぬことを甘んじて受けてくださったのです。私たちはこれらのことを理解する事はできませんが、神はそれをなしてくださったのです -- それはあなただけのためであり、わたしたちのためです！



キリストの十字架ほどの愛の表明は、ほかにあり得ない。

3. 神は私のような者を、どうして愛することがおできになるのでしょうか？



だれ一人として、イエスが愛されなかった人はいない。

「しかし、まだ罪人であった時、わたしたちのためにキリストが死んで下さった」ローマ人への手紙 5:8

答え：それは私が獲得したものであるとか、それに値するからということではもちろんありません。私たちはだれ一人として、罪の報酬である死以外に値するものは何もありません（ローマ人への手紙 6:23）。けれども神の愛は無条件です。神は強盗、姦淫を行う者たち、そして殺人者を愛されます。神はまた、利己的な者、偽善者、神を冒瀆する者も愛されます。けれども最もすばらしいことは、神はあなたを愛されるのです！そして神は、私の罪が苦しみと死に至るだけであるということをご存知なので、あなたを罪から救いたいと願っていらっしゃいます。ですからイエスは私たちのために死んで下さったのです。

4. イエスの死は、私に何をもたらすのでしょうか？

「わたしたちが神の子と呼ばれるためには、どんなに大きな愛を父から賜ったことか、よく考えてみなさい。」ヨハネの第一の手紙 3:1 「しかし、彼を受けいれた者、すなわち、その名を信じた人々には、彼は神の子となる力を与えたのである。」ヨハネによる福音書 1:12

答え：キリストは私に課せられている死の刑罰を支払うために死んでくださいました。キリストは人間としてお生まれになられたので、私が受けるべき死の刑罰を経験され、キリストが成し遂げてくださった功績を私に差し出してくださいました。言い換えれば、彼の罪なき生涯を私の帳簿に加えてくださった、つまり私の功績としてくださったので私は義とみなされるのです。私の過去のすべての過ちの支払いとして、イエスの死を神は受け入れてくださり、そして私はイエスが成してくださったことを贈り物として受け取ることで、神の子供として神の家族に歓迎されるのです。何という驚くべきことでしょうか！

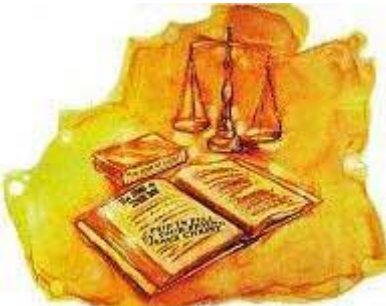
しばらく、この驚くべき事実を熟考してください：

- 私は罪のために死刑判決を受けました。
- 私は永遠の命を失うことなしには罪の刑罰を支払うことはできません、なぜならもし自分の罪のゆえに死ぬのであれば、自分自身では復活することはできないからです。私は永久に葬られた者となることでしょうか。
- 私が抱えている負債は支払いが不可能です！けれども人となったイエスという友がやって来て言いました「私が支払いましょう、私があなたの代わりに死んで、私が成し遂げたことをあなたのもとしましょう。あなたは自分の罪のために死ななくてもいいのです。」
- 私はそのお申し出を受け取らなければなりません！単純なことではないですか？ 私は素直にイエスの死は私のためであることを認め受け入れます。そうする瞬間に、私は神の息子、または娘になるのです！



イエスの死は、私がこれまで犯したすべての罪の完全な支払である。このすばらしい贈り物を受け入れるとき、私たちはイエスの家族の一員になる。

5. 私はどのようにしてイエスを受け入れ、死から命に移ることができますか？



イエスは、あなたが支払い不可能な負債を清算するために、彼の死を与えてくださった。

ただ、三つの事実を認めましょう：

1. 私は罪人です。「すべての人は罪を犯した。」ローマ人への手紙 3:23
2. 私は死の宣告を受けました。「罪の支払う報酬は死である。」ローマ人への手紙 6:23
3. 私は自分自身を救うことができません。「わたしから離れては、あなたがたは何一つできない」ヨハネによる福音書 15:5

そして、三つの事実を信じましょう：

1. イエスが私のために死んでくださいました。「それは、彼（イエス）が ... すべての人のために死を味わわれるためであった。」ヘブル人への手紙 2:9
2. 神は私の罪をゆるしてくださいます。「もし、わたしたちが自分の罪を告白するならば、神は真実で正しい方であるから、その罪をゆるし、すべての不義からわたしたちをきよめて下さる。」ヨハネの第一の手紙 1:9
3. 神は私を救ってくださいます。「信じる者には永遠の命がある。」ヨハネによる福音書 6:47

答え：それを願い求め、受けたことを信じ、神であり、私たちの主であるイエス・キリストの偉大な贈り物を受け取ることによってです。

6. 救いという贈り物をいただくために、私は何をしたらいいのでしょうか？

「神の恵みにより、キリスト・イエスによるあがないによって義とされるのである。」ローマ 3:24 「人が義とされるのは、律法の行いによるのではなく、信仰によるのである。」ローマ人への手紙 3:28

答え：私ができるただひとつのことは、それを純粋な贈り物として受け取ることです。私の服従の行いは、私を義とすることに少しも助けになることはありません。信仰によって救いを求める人たちが皆それを受けるのです。神に見捨てられているかのように見える最も墮落した罪人でも、最も道徳的な慈善家と同じ基準で受け入れられるのです。過去のことは考慮されません。覚えておいていただきたいことは、神はすべての人を同じように愛され、罪のゆるしは願うことによって与えられるということです。「あなたかたの救われたのは、実に、恵みにより、信仰によるのである。それは、あなたがた自身から出たものではなく、神の賜物である。決して行いによるのではない。それは、だれも誇ることがないためなのである。」エペソ人への手紙 2:8, 9



あなたは膨大な罪の負債を抱えているであろうか？もしイエスに助けを求めるならば、すぐにあなたを助けてくださる。

7. 私が、信仰によって神の家族に加わるとき、イエスは私の人生をどのように変えてくださいますか？



イエスの力は、反抗的な罪人を愛に満ちた聖徒に変える。

「だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。古いものは過ぎ去った、見よ、すべてが新しくなったのである。」コリント人への第二の手紙 5:17

答え：キリストを私の心の中に受け入れるとき、彼は私の古い罪深い自我を滅ぼして、新しく霊的に造り変えられた者にしてください。それによって以前の罪深い人生は不快で好ましくないものになります。私は喜びにあふれ、初めて罪の呵責、罪悪感からのすばらしい解放を経験し始めるのです。そして今は、宇宙の王が提供してくださるご馳走を楽しむことができます。今までのキリストなしの人生がいかに空虚で無意味なものであったかを感じ始めます。神とともに過ごす一分間は、悪魔に仕える全生涯よりもはるかに幸せで有意義なものとなります。何という変化でしょうか！これを受け入れるのになぜ今まで長く待っていたのでしょうか？

8. 変えられた新しい人生は、放縱な古い生活にまさっているのでしょうか？



親が子供たちに与えることのできる最も貴重な贈物は、子供たちがキリストになることである。親が子供たちに与えることのできる最も貴重な贈物は、子供たちがキリストになることである。親が子供たちに与えることのできる最も貴重な贈物は、子供たちがキリストになることである。

イエスは言われました：「わたしがこれらのことを話したのは、わたしの喜びがあなたがたのうちにも宿るため、また、あなたがたの喜びが満ちあふれるためである。」ヨハネによる福音書 15:11 「だから、もし子があなたがたに自由を得させるならば、あなたがたは、ほんとうに自由な者となるのである。」ヨハネによる福音書 8:36 「私は、彼らが命を持つために、命をさらに豊かに持つために来たのである。」ヨハネによる福音書 10:10 (欽定訳聖書)

答え：多くの人々は、クリスチャンの人生には制限と自己犠牲が伴うために、幸せな生活ではないと思っています。実はまったくその反対なのです。あなたがイエスの愛を受け入れると、とてつもない活力があなたの内から泉のように湧き上がります。信じられないような平安と喜びがあなたの人生に満ちわたります。この感動に及ぶものは何もありません！利己主義と敗北の古い人生とは比較することはできません。まるで悪い夢を見ていたかのように苦しく辛い過去はしだいに消え、神が意図された「さらに豊かな」人生を経験するようになるのです。



クリスチャン家庭の幸福と喜びは、この地上のどんな喜びとも比べることはできない。

9. けれども、私はクリスチャンがなすべきすべてのことをすることができるでしょうか？



「わたしはキリストと共に十字架につけられた。生きているのは、もはや、わたしではない。キリストが、わたしのうちに生きておられるのである。」ガラテヤ人への手紙 2:19,20 「わたしを強くして下さるかたによって、何事でもすることができる。」ピリピ人への手紙 4:13

答え：ここがクリスチャン生活において最大の奇跡が表される場所なのです。自分自身を無理やり良い人にするなどできません！クリスチャンとしてあるべき姿とは、あなたの内にほかのお方(イエス)の生き方が自然に湧き出ることなのです。服従はあなたの人生において自然な愛の応答になります。神から生まれ新しく造られた人として、イエスの生き方が、あなたの生き方になるので、あなたは神に服従することを望むようになります。愛するだけかを喜ばせることは重荷ではなく喜びです。「わが神よ、わたしはみこころを行うことを喜びます。あなたのおきてはわたしの心のうちにあります。」詩篇 40:8

イエスがあなたの人生に介入される時、彼の奇跡的な力で、重荷であった服従が、この上ない喜びに変わる。

10. それでは、十戒に服従することも難しいことではなくなるということですか？



「もしあなたがわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである。」ヨハネによる福音書 14:15 「神を愛するとは、すなわち、その戒めを守ることである。そして、その戒めはむずかしいものではない。」ヨハネの第一の手紙 5:3 「しかし、彼の御言を守る者があれば、その人のうちに、神の愛が真に全うされるのである。」ヨハネの第一の手紙 2:5

答え：聖書では常に、服従を愛の関係に結び付けています。生まれ変わったクリスチャンは、十戒を守ることがうんざりするような苦闘ではないことがわかるのです。すべての過去の罪がイエスの贖いの死によって覆われ、現在と将来の服従は、私の内にご臨在になられるイエスの勝利の生涯に基づいています。それだけではなく、私は自分の人生が変わるほどにイエスを心の底から愛しているので、十戒が要求している以上のことをします。日毎にイエスのご意思が表されている聖書を探り、イエスに対する愛を表すことができるのであればどんな小さなことにおいても神の御心を行うことができるように努めるのです。「そして、願い求めるものは、なんでもいただけるのである。それは、わたしたちが神の戒めを守り、みこころにかなうことを、行っているからである。」ヨハネの第一の手紙 3:22 (強調は引用者による)

心から愛している人を喜ばせることは難しいことではない。

11. 聖書の中に、律法を守る神の民のことが書かれていますが、それが律法主義ではないということ、どのように確かに行うことができますか？

「ここに、神の戒めを守り、イエスを信じる信仰を持ちつづける聖徒の忍耐がある。」ヨハネの黙示録 14:12 「兄弟たちは、小羊の血と彼らのあかしの言葉とによって、彼にうち勝ち、死に至るまでもそのいのちを惜しまなかった。」ヨハネの黙示録 12:11

答え：服従を律法主義だと思いをしはなりません。律法主義というのは、良い行いをすることによって救いを得ようとすることです。聖書によると、聖徒は次の四つの特徴を持っていることで見分けることができます：(1) 十戒を守り、(2) 子羊の血に依り頼み、(3) 信仰を他の人々に分かち合い、(4) 罪を犯すよりは死ぬことを選ぶ人たちです。これらがキリストを心から愛し、キリストに従うという生涯の献身をした人の真の特徴です。



十戒を守ることによって救いを獲得しようとする試みは悲しみと絶望に終わる。しかし、イエスの救いの贈物を経験した人は、神の律法に服従する歩みに喜びを経験する。

12. キリストとの愛の関係を確かにするために行うべき重要なこととは何でしょうか？そしてそれは何を象徴しますか？



バプテスマは、私をキリストに結び付ける婚姻の儀式である。

「すなわち、わたしたちは、その死にあずかるバプテスマによって、彼と共に葬られたのである。それは、キリストが父の栄光によって、死人の中からよみがえらされたように、わたしたちもまた、新しいいのちに生きるためである。」 「それは、この罪のからだが減び、... するためである。」 ローマ人への手紙 6:4, 6 「あなたがたを、きよいおとめとして、ただひとり男子キリストにささげるために、婚約させたのである。」 コリント人への第二の手紙 11:2

答え：

バプテスマは、真の信者の人生に起こる三つの重要な事柄を象徴します。それらは：(1) 罪に死に、(2) キリストにある新しい人に生まれ変わり、(3) 永遠にわたってキリストと婚姻関係を結ぶことです。この霊的結合は、時が経つにつれてますます強くなり、お互いの愛も深まり続けるのです。どのような結婚においても言えることは、愛の喪失は結婚生活が天国から地獄になってしまうということです。愛が失われてしまう家庭は機械的で、法律上の義務というだけで一緒に生活しているような関係になってしまいます。同様に、クリスチャンがキリストへの最高の愛を失ってしまうと、クリスチャン生活はただ単に決められた一連の規則に従うだけのものになってしまいます。

13. 私とキリストとの婚姻における信仰と愛を、引き続き深めていくためにどうすればよいのでしょうか？

「聖書を調べなさい」 ヨハネによる福音書 5:39(欽定訳聖書) 「絶えず祈りなさい」 テサロニケ人への第一の手紙 5:17 「このように、あなたがたは主キリスト・イエスを受け入れたのだから、彼にあって歩きなさい。」 コロサイ人への手紙 2:6 「わたしは日々死んでいるのである。」 コリント人への第一の手紙 15:31.

答え： どんなに愛し合っている関係でも、コミュニケーションがなければ成長することはできません。祈りと聖書研究は、お互いの関係を深めるためには重要不可欠です。神のみ言葉は、霊的な生活を養うために毎日に学ぶべき神からのラブ・レターです。祈りによって神と対話することは、神に対する愛を深め、私を気にかけてくださるお方に対していっそう心ときめき、そのお方を深く理解するために心が開かれます。また私の幸福のために、神が毎日に生活のあらゆる必要に備えてくださっているということも見出し目が開かれるのです。



イエスに対する私の愛は、他の人にその愛を分かち合うことによって深まっていく。

神は私たちの霊的な婚姻の絆を固められる。

私たちの霊的な結婚の絆を永遠に固めるために、病気のときも健康なときも神は私を支え (詩篇 41:3; イザヤ書 41:10)、人生において必要とされるすべてのものを備えてくださるために (マタイによる福音書 6:25-34)、私たちを決して離れず、捨てないと約束してくださいました (詩編 55:22; マタイによる福音書 28:20; ヘブル人への手紙 13:5)。私が信仰によって神を受け入れ、神がすべての必要を満たしてくださいることを理解し、神が将来のすべての必要を満たしてくださいるということを信頼し続けるならば、私は決して失望させられることがありません。

14. イエスを私の人生にお招きし、新しい生まれ変わりの経験をするのが私の望みです。

答え：

- はい
- いいえ
- すでに決心しています。

質問

1. ひとりの人の死が、全人類の罪の刑罰を支払うことなどできるのでしょうか？ 私はとても罪深い人生を歩んできました。ですから神は、私のような悪い者のために特別な贖いをしなければならぬのではないかと感じてしまいます。ヘブル人への手紙 7:25

ローマ人への手紙 3:23 に、「すべての人は罪を犯した」と書かれています。「すべての人は罪を犯し」、そして「罪の支払う報酬は死」(ローマ人への手紙 6:23)ですから、この世に生まれたすべての人のために「特別な方」が必要とされていました。全人類と等しい命を持つお方だけが、人類の罪のために死んでくださることが可能なのです。イエスは創造主であり、すべての命の創始者でありますから、イエスが捧げてくださった命は、この世に存在するすべての人々の命と等しいものでした。全被造物の身代わりになることのできる方が、全人類の贖いをなさらなくてはならなかっただけでなく、贖いの死を死んでくださるお方はまた、死からよみがえることのおできになる方ではならなかったのです。なぜでしょうか？ 信仰によって贖いの恩恵を受けることを求める人々に、「彼(イエス)は、いつも生きていて彼らのためにとりなしておられるので、彼によって神に来る人々を、いつも救うことができる」(ヘブル人への手紙 7:25)ためだからです。

2. もし私がキリストと彼のゆるしを受け入れてから再び罪を犯してしまったときに、キリストはまた私をゆるしてくださいるのでしょうか？ ヨハネの第一の手紙 1:9

もし罪を悔いて告白するならば、神は再び罪をゆるしてくださいることを確信することができます。「もし、わたしたちが自分の罪を告白するならば、神は真実

で正しいかたであるから、その罪をゆるし、すべての不義からわたしたちをきよめて下さる。」ヨハネの第一の手紙 1:9

3. 罪深い状態にある私が、どのように神に近づくことができますか？司祭や、私のために祈ってくれる牧師がいた方がいいのではないですか？
ヘブル人への手紙 4:16

イエスはこの世で肉体を持って生きられ、「わたしたちと同じように試練に会われた」（ヘブル人への手紙 4:15）ので、私たちのことを理解し、あわれみを与えたいと切望しておられるのです。ヘブル人への手紙 4:16 では、「わたしたちは、あわれみを受け、また、恵みにあずかって時機を得た助けを受けるために、はばかりことなく恵みの御坐に近づこうではないか。」と言っています。私たちは仲介者なしに、神の恵みに信頼し、イエス・キリストを通して、直接神に近づくことができ、イエスの名によって「はばかりことなく」神のみもとに行くことができます（ヨハネによる福音書 14:14）。テモテへの第一の手紙 2:5 には次のように書かれています。「神は唯一であり、神と人との間の仲保者もただひとりであって、それは人なるキリスト・イエスである。」

4. 神は私を救ってくださいますが、私も何か貢献できることがあるでしょうか？
ローマ人への手紙 4:5

神の救いのご計画は、ただ恵みによるものであり（ローマ人への手紙 3:24; 4:5）「神の賜物」（エペソ人への手紙 2:8）ですから、あなたができることは何もありません。神が信仰を通して与えてくださる恵みは、神に服従したいという願いと、服従する力を与えてくださいます。それによって神の律法を守ることができるという結果が生じるのです。ですからこの服従でさえ神の無償の賜物によって生じるものです。神の愛に対する応答である服従と忠誠心は、真の弟子であるかのテストであり、イエス・キリストにある信仰によって自然に生じる実なのです。

5. もし神が私の罪をゆるし、神の家族に戻して下さるのであれば、私が将来受けるべき刑罰が除かれるということでしょうか？ それともまだ何かの償いをすることが必要とされるのでしょうか？
ミカ書 7:18

聖書は次のように記しています、「こういうわけで、今やキリスト・イエスにある者は罪に定められることがない。」（ローマ人への手紙 8:1）キリストは私たちのすべての罪の値を支払ってくださいました。そして信仰によって神を受け入れる人は、罪の清めのために難行苦行をする必要もなく、すでに子羊の血で「洗われている」とみなされるのです。イザヤ書 43:25 には、美しいゆるしの約束が書かれています：「わたしこそ、わたし自身のためにあなたのとがを消す者である。わたしは、あなたの罪を心にとめない。」ミカ書 7:18,19 は、神の子らに対する救いの神の美しい哀れみが表わされています：「だれがあなたのように不義をゆるし、その嗣業の残れる者のためにとがを見過ごされる神があらうか。神はいつくしみを喜ばれるので、その怒りをながく保たず、再びわれわれをあわれみ、われわれの不義を足で踏みつけられる。あなたはわれわれのもろもろの罪を海の深みに投げ入れ」られる。

クイズ

1. 神が天の全てを注ぎ出して、人間にくださった大いなる賜物とは何ですか？(1)

- 聖書
- 神の教会
- イエス・キリスト
- 律法

2. この世界が目撃した最も大いなる神の愛の現れは(1)

- パンと魚。
- 十字架におけるキリストの死。
- ペンテコステ。
- ペテロの告白。

3. 十字架上のキリストの犠牲は (1)

- すべての人のため。
- 義人のためだけ。
- 悪人のためだけ。
- 救いに定められていた人たちだけのため。

4. 神はどのような人を最も愛されますか？(1)

- 教会員。
- 姦淫者と強盗。
- 全ての人を同様に。
- 改心したクリスチャン。

5. キリストが人間としてお生まれになった理由は何ですか？(1)

- 罪の代価を支払うために。

- 私たちがいかに弱いかを知るために。
- 良き大工になるために。

6. 救いを得るために、人がなすべきことは (1)

- 聖書の勉強をする。
- 教会員になる。
- 異言を語る。
- それを賜物として受け入れる。

7. 私たちが救われるのは何によるのですか? (1)

- 良い行い。
- 恵み。
- 願望。

8. 神にゆるされ、受け入れられたことによって、私たちは次のような思いに導かれます。 (2)

- 私たちは再び罪を犯すことができる。
- 娯楽を断った事を後悔する。
- 喜びと平安。
- 永遠の命の確信。

9. 神への服従は何が基とされるべきですか? (1)

- 地獄の恐怖。
- 友人たちから認められること。
- イエスへの愛。

10. クリスマンとしての行いや、神の戒めを守ることは (1)

- 律法主義である。
- 真の改心の実の一つである。
- 大切ではない。

11. キリストとの婚姻の象徴は (1)

- 修道院や僧院に入る。
- バプテスマを受ける。
- 右手の指に結婚の指輪をはめる。
- 独身の誓いをする。

12. キリストを愛し続けるためになすべき最も大切な二つのことは (2)

- 日々の聖書研究。
- 寛大な献金をする。
- 豚肉を食べないこと。
- 常に祈りの気持ちを持ち続けること。

著作権 ; 2006 年 Amazing Facts Inc. 無断での複製、転載を禁じます。
個人使用に限ってのみ複写可。 by www.bibleuniversity.com Bible School website.